

看護 みやぎ



CONTENTS

- | | |
|--|--|
| 2 2020年を迎えて | 14 後輩を育てる 効果的な実習指導を目指して
医療安全情報レポート |
| 3 秋の叙勲
宮城県へ要望書を提出 宮城県保健福祉部長と懇談
理事会だより | 15 宮城県ナースセンターからのお知らせ |
| 4 特集1 宮城看護学会第13回学術集会開催
・ベッドサイドの倫理的ジレンマ | 16 2020年度新規入会・再入会受付中
令和元年度 会員総括表・編集後記 |
| 6 特集2 宮城県第7回医療職のW・L・B推進ワーク
ショップ開催
・私たちが働き続けられる職場環境改善への取り組み!! | |
| 8 特集3 キャリアをみがく
・宮城県第2回サードレベル研修で生まれた
ネットワークの絆
・認定看護師を紹介します | |
| 10 支部だより | |
| 13 わたしのとおきリフレッシュ方法 | |



伊豆沼の白鳥



2019年サードレベル受講者一同（福井会長による研修を終えて）



公益社団法人 宮城県看護協会



2020年を迎えて

公益社団法人宮城県看護協会 会長 石井幹子

立春を迎えました。皆様お元気でいらっしゃいますか。

ナイチンゲール生誕200年の本年は、世界各地でNursing Now キャンペーンが展開されています。一人でも多くの会員にキャンペーンの意味や意義を理解してもらい、看護の躍進の年にしていきたいと願っております。

Nursing Nowの掲げる目標は、①看護職の教育・専門職開発・雇用条件等への財源確保、②効率的・革新的看護実践の普及、③保健医療政策への看護職の影響拡大、④リーダーの職位につく看護職の増加、⑤政策実現に向け政策・意思決定者へのエビデンス提供の拡大です。

日本看護協会では「看護の力で健康な社会を！」をテーマに、①看護基礎教育制度の改革の推進、②地域包括ケアにおける看護提供体制の構築、③看護職の働き方改革の推進、④看護職の役割拡大の推進と人材育成、に取り組んでいます。

私たち看護職には、医療とケアと生活をつなぎ、健康な社会の醸成に役割を發揮することが期待されています。

宮城県看護協会でも、より良い看護実践を目指した教育計画で、地域包括ケアシステムの推進や働き続けられる勤務環境改善事業等、さまざまな機会を捉えて伝え広め、会員の皆様と共にキャンペーン活動に参加したいと考えます。

またこの機会に、学生時代に習ったナイチンゲールの「看護覚え書」にもう一度目を通し、看護の原点回帰をしてみることもお勧めしたいことです。

さて今年度も総会まであと4か月、皆様のご協力のおかげをもちまして定款の7項目の事業も大分進んできております。今年度の重点事業は、1. 地域包括ケアの推進、2. 看護職の働き方改革の推進（働き続けられる勤務環境改善と就労支援の推進）、3. それぞれの分野で働く看護職の役割発揮に向けた看護の質の向上、4. 組織拡大と支部機能の強化ですが、どの事業もしっかりと取り組んでおります。

支部主催の看護管理者ネットワーク会議ですが、地域包括ケア推進に向けて看護連携の強化のために、各支部で工夫を凝らして企画しています。参加して思うことは、それぞれの支部でさまざまな領域で仕事をする看護職と活発に交流がなされていることです。

東北地方は医療職の都市部集中、地域偏在が課題となっておりますが、支部で出会う看護職は皆さん活き活きしていて頼もしく感じます。学生にもこの姿を見せたいと思いながら参加させていただいております。お互いの顔の見える関係から、今後は地域の課題解決に向けて一緒に取り組む関係に成長していくことを期待しております。

まだまだ寒い日が続きますので、どうぞお大切にお元気でお過ごしください

そして、看護協会の活動にも一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和元年秋の叙勲

おめでとうございます！

永年のご活躍に敬意を表し心よりお祝い申し上げます。



瑞宝单光章

看護業務功労

金澤 悅子 氏 (元 東北大学病院 看護師長)

亀井 恵子 氏 (元 登米市民病院 看護部長)

熊田 真紀子 氏 (元 東北大学病院 副看護部長)

宮城県へ要望書を提出

宮城県保健福祉部長と懇談

令和元年11月21日、台風19号の影響で例年より遅れましたが、令和2年度に向けた宮城県看護協会の宮城県知事あての要望書を伊藤哲也保健福祉部長に提出しました。その後、伊藤部長、鹿野医療人材対策室長等と懇談し、石井会長より看護職を取り巻く現状や課題、県協会として今後に向けて取り組む必要のある事業を提案し意見交換を行いました。また、医療的ケア児の課題については、精神保健推進室長等にも説明しました。本地副会長、斎藤専務理事が同席しました。

伊藤部長は「看護協会では、看護職の人材育成・確保・定着に取り組んでいること、訪問看護や医療的ケア児へのかかわりなども重要であり関係部署と検討していくようにしたい、特にナースセンターの業務について県と協会で力を合わせていきたい。」と、当協会の要望・事業提案について真摯に受け止めていただきました。



宮城県知事要望書提出



宮城県保健福祉部長と懇談

令和2年度に向けた看護に関連する要望事項

1. 地域包括ケアに向けた地域ネットワークの推進と看護職の機能強化

- 1) 急性期から回復期への病床機能転換及び在宅医療への移行に備えた看護職の人材確保と資質向上
- 2) 在宅・施設等の人材確保と看護の質の向上に向けた取り組み

2. 子育て世代包括ケア推進に向けた相談機能充実と看護職連携

- 1) 妊娠期から切れ目のない支援を受けられる子育て支援の充実
- 2) 医療的ケア児を支援する看護職の人材確保と看護の質向上

3. 県民の健康課題に対応した地域保健推進に向けた人材確保・育成

- 1) 統括保健師の配置の推進および地域保健の充実

4. 県内看護職確保・定着に向けたサポート体制の強化

- 1) 看護学生の県内定着率アップと県外からの確保も目指した取り組み
- 2) 看護職の就労環境改善支援

5. それぞれの領域で働く看護職の資質向上と役割発揮

- 1) 医療機関等の看護管理機能向上への支援
- 2) かかりつけ医で働く看護職への研修支援
- 3) 准看護師のキャリアアップ支援
- 4) 被災者の健康支援の継続

理事会だより

令和元年度 第5回理事会

日時：令和元年11月9日（土）10時30分～14時15分
場所：宮城県看護協会会館・看護研修センター

1. 審議事項

- (1) 令和2年度職能委員会の任務及び常任・特別委員会に関する会長の諮問事項について
- (2) 協会立訪問看護ステーションの組織改編について
- (3) 規程等の改正（案）について

2. 報告事項

- (1) 令和元年度重点事項の進捗状況
- (2) 事業報告（令和元年9月～10月）
- (3) 宮城県知事要望の状況報告
- (4) 令和元年度正会員の入会状況
- (5) 日看協第5回理事会報告・全国法人会報告
- (6) 職能理事報告
- (7) 支部理事報告
- (8) 令和元年度支部活動との連携強化（支部看護管理者等ネットワーク会議の開催等）
- (9) 令和2年度看護のひろばの開催（案）

ベッドサイドの倫理的ジレンマ

令和元年11月16日（土）、フォレスト仙台にて宮城看護学会第13回学術集会が開催されました。参加者は435名で、気仙沼医師会准看護学校から28名の参加もありました。

石井幹子学会長より、今学会の開催経緯と来年はナイチンゲール生誕200周年であり、看護の明日に向かう力が得られるよう実りある集会になるようにとご挨拶がありました。



石井会長挨拶

口演・示説



口演会場の様子

一般演題は口演14題、示説9題の発表がありました。演者とフロアで活発に意見交換がなされていました。

口演会場では、患者や看護師に焦点をあてたテーマや日常の業務改善から得られた成果の発表がありました。一方示説会場では、今回の学会テーマ「身体拘束」について、患者の尊厳を守るための取り組み事項が活発に発表されていました。会場に入りきれない参加者もおり大変盛況でした。

また示説会場には、東日本大震災と台風19号の災害支援に関するポスターも掲示されており、興味深く閲覧する参加者も多くみられました。



示説会場の様子



特別講演の様子

特別講演

『ベッドサイドの倫理的ジレンマ－患者の権利と身体拘束を考える－』

特別講演では、近年クローズアップされている患者の身体拘束について、新潟県立看護大学教授・宮城大学名誉教授の小野幸子先生より「患者の権利と身体拘束を考える」についてご講演を頂きました。看護師は、患者の命・健康・幸せに携わる職種であり、倫理的ジレンマを抱く、感じることが大切で、看護の専門職として成長の機会に遭遇していると捉えることができるとのご講演でした。

次いで身体拘束についての話題提供として、石巻赤十字病院 老人看護専門看護師の日向園恵氏よりご講演をいただきました。日頃行っている看護実践から身体拘束ゼロ（低減）を目指した取組みのお話があり、高齢者や認知症の患者に対しての身体拘束は、看護師の業務上の都合で行っていることが多い現状から、看護は患者の尊厳を尊重し権利を譲り、意思決定を支える事の重要性について学ぶことができる内容でした。

患者の善き看護について、看護管理者を巻き込み、組織的に身体拘束をゼロにする取り組みの必要性について再認識ができたご講演でした。



小野幸子先生



全体討議の様子



日向園恵氏

看護研究支援講座

看護研究支援講座では、東北医科薬科大学病院 臨床研究推進センター管理部門センター長補佐の畠中貞雄先生より、「利益相反について」ご講演を頂きました。利益相反（COI）とは、一般的に、ある行為が一方の利益になると同時に、他方の不利益になるような行為を言います。医学系研究を行う上での利益相反に関する正しい知識の内容のご講演でした。



畠中貞雄先生



学会を終えて

学会委員長 瀬戸初江



本学会は、昨年日本看護学会一看護管理一学術集会が仙台で開催されたこともあり2年ぶりの開催となりました。近年、少子高齢化、医療の高度化が進み看護業務も煩雑化しています。看護師は、日々の業務に追われ、本来のベットサイド看護を提供したいと思っていてもできていないことにジレンマを感じている現状もあります。平成11年に介護施設における身体拘束の基準が出されて様々な取り組みがなされ、医療機関でも徐々に身体拘束ゼロをめざし看護ケアが提供されてきています。このような背景を踏まえ第13回の学会のテーマは「ベットサイドの倫理的ジレンマー患者の権利と身体拘束を考えるー」としました。

特別講演は高齢者看護について数多く執筆し老年看護学の専門家である新潟県立看護大学教授小野幸子先生にご講演いただきました。身体拘束を考えると同時に患者さんにとってその人らしい生き方を患者とともに考えることの大切さ、看護の原点を振り返るよい機会となりました。更に、看護師は、常に倫理的感感受性が鈍麻しないようにしなければならないことを改めて感じました。話題提供として石巻赤十字病院の老年看護専門看護師の日向園恵先生から自施設の身体拘束への低減に向けた取り組みについてご講演いただきました。2人のご講演は臨床現場の事例を取り上げていただき大変わかりやすくお話を聞くことができました。また、会場からも具体的な質問も出され、参加者が共有できる内容でした。

研究支援講座は東北医科薬科大学病院、臨床研究推進センター管理部門センター長補佐の畠中貞雄先生に「利益相反について」のご講演をいただきました。これから研究を行うにあたり人を対象とした研究においては、対象者の生命、安全、人権を守る責任が課せられていることを改めて認識しました。

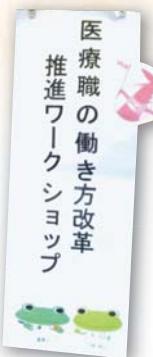
今年度も沢山の演題をエントリーしていただき、皆様に感謝申し上げます。また、学会へ参加していただいた皆様大変ありがとうございました。次年度も是非、沢山の演題応募をお待ちしております。

私たちが働き続けられる職場環境改善への取り組み!!

＼昨年度から医療職に拡大して行っています／

宮城県看護協会では、平成25年度よりワーク・ライフ・バランス事業に取り組みワークショップの開催や地域に出向き研修するなど、その普及に努めてきました。

平成30年度からは「医療従事者のワーク・ライフ・バランス事業」として宮城県医療勤務環境改善支援センターと協働し、昨年度から看護職だけでなく病院で働く全ての職員を対象とした活動に拡大しています。令和元年10月18日（金）・19日（土）2日間のワークショップには7施設が参加し、インデックス調査の結果から現状の課題と今後の対策について検討し活発な意見交換が行われました。12施設16名の一般聴講もあり、その概要を皆様にお届けします。



1日目の講義

◆ 田林 義則 氏（一般財団法人三友堂病院理事）

「WLBの基本的な考え方」

「インデックス調査及び調査結果の読み方と
アクションプランの立案」



◆ 伊東 達也 氏（株式会社HRMコンサルティング 特定社会保険労務士）

「労務管理に必要な関係法規」



話題提供

◆ 宮城県看護協会ナースセンター

「WLB推進ワークショップ事業を通じた好事例の紹介」

医療職の働き方改革ワークショップ（WLB ワークショップ） 参加施設：7施設

- 永仁会病院（6年目）
- 大泉記念病院（5年目）
- 坂総合病院（3年目）
- 仙台赤十字病院（2年目）
- 公立黒川病院（2年目）
- JCHO仙台病院（2年目）
- 富谷中央病院（1年目）



参加風景



アンケートからの声（一部抜粋）

取り組み施設参加者の意見・感想

- ・どの施設も同じような課題を抱えていて、取り組み内容が参考になった。医療界の共有する課題とも捉えることができた。
- ・他病院の取り組みも聞けて参考になった。色々な施設の発表を聞いたり、講師の先生方のアドバイスがすごく参考になった。
- ・インデックス調査での結果から病院全体の現状を知る機会となった。楽しく長く働くために、環境を整えることが大事と感じた。

一般参加者意見・感想

- ・時短勤務など利用している職員もいますが、状況によって帰れない業務の状況や周囲の理解が得られにくくもっと取りやすい風土にできればと思います。内容はとても分かりやすく参考になりました。
- ・WLBが言われるようになってから「権利」「自由」「わがまま」をはき違えているスタッフが多くなっている。労基や様々な制度にある研修会があれば参加したい。

WLBインデックス調査とは

働く職員の実態把握を行うツール。一人一人が記入する職員調査と施設調査があり、クロス集計等により施設の課題が見えやすくなります。

参加施設はゴール達成を目標に、これから1カ月目～4カ月目、1年目、3年目に向けて計画を立案して実行します。例えば、ある施設は「働き方満足度」の数値を31%から50%に増やすことをゴールのひとつとして計画を立て取り組みます。

令和2年 2月22日（土）のフォローアップワークショップで7施設が経過報告とこれまでの取り組みを発表予定。

取り組みは大変参考になりますので、是非ご参加下さい。

令和元年度WLBワークショップ参加施設



総評

- 医療職全体で取り組むワークショップ開催は2年目であるが、多職種が参加することにより、視野が広がりより活発な意見交換ができるようになっている。
- 継続して取り組んできた施設の中には、経営改善、離職率の低下などの項目で成果が見られている。
- WLB推進の成功の秘訣は、看護部や職場全体でビジョンを明確にしていかに共有するか、である。

勤務環境改善研修会（地域開催）

【テーマ・開催日・講師】

“医療職の多様な働き方とやりがいを支えるために”
「これからの看護職の賃金体系モデルを考える」

- ① 12月7日（土） みやぎ県南中核病院 参加者18名
- ② 12月14日（土） 大崎市民病院 参加者18名

講師 田林 義則 氏（山形県米沢市三友堂病院人事企画部）

参加者の声

難しかったが楽しかった時間でした。
もっと時間をかけて学びたかった。

令和2年度医療職WLB推進ワークショップの参加施設募集

WLBインデックス調査のとりまとめは、宮城県看護協会が行ないます。今回が最後の募集になります。

お問い合わせ
ナースセンター

電話 022-272-8573
FAX 022-272-7801

宮城県第2回サードレベル研修で生まれたネットワークの絆

宮城県サードレベル研修カリキュラムの大きな特徴は、統合演習が45時間に増えたことです。その中にはトップマネジャーとしての事業計画立案、政策提言演習、他施設の経営管理実習が含まれました。

目的は地域住民および社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することであり、22名の受講者が、それぞれの課題達成に向け、共に励まし、支えあい研修に臨みました。

施設選択から交渉を含めた実習は、甚大な被害をもたらした台風19号の爪痕の中、北は岩手から南は京都まで、看護管理者の心温まるおもてなしとご指導のもと、貴重な学びを得ることができました。この場を借りて御礼申し上げます。初体験の政策提言演習では、看護の将来構想について、自らが参画する部署を動かすために、どこへ何を提言するのか、提言の演習を行いました。制度政策の歴史も含めて学び、看護の諸先輩の取り組みや法改正までの努力で、看護の質の向上があることを改めて認識できました。事業計画立案は地域分析をしたうえで、今変革を求められているトップマネジャーの視点で事業計画構想をしました。一番苦労もしましたが仲間の絆も深まりました。2020年10月には実践報告ができるよう努力中です。

今後は、各地域に張り巡らされたネットワークを活用しながら、それぞれの施設が協力し合い、地域社会に貢献していくことを目標に活動していきたいと考えます。



講師の佐山先生を囲んで

● サードレベル2期生からの 学びのメッセージ

サイレントマジョリティから ノイジーマジョリティに変革する

相手の意見を尊重しつつ自分の意見を発信し、看護界を変革する。



宮城サード2期生の ミッション

- つなげます！ 地域と人と健康を！
- 宮城サード2期生の力を集結し
宮城・山形の看護に貢献する。

過去・現在・未来の 私への約束

小さいことから着実に実行していく行動力を！
このネットワークを大切に地域を広く視野に入れた活動をしていきたい。

サーバントリーダーシップ

- スタッフに信頼を寄せ、自身の人間性の成熟度を上げ、魅力的な看護管理者になる。
- 看護師長の職位からサードレベル受講を推進する。組織力アップを目指す！！



✿ 編集委員 受講者 ✿ 東北労災病院：佐々木礼子・仙台赤十字病院：佐藤霧子

認定看護師を紹介します

認定看護師



慢性心不全看護認定看護師
東北医科薬科大学病院

芳賀美智代さん

安や迷いを抱えて生活しています。私は、循環器内科・心臓血管外科外来で勤務し、試行錯誤しながら自己管理している患者さんや家族の不安や迷いに寄り添う支援をしています。特に力を入れているのは、ハイリスク患者への看護面談で、症状や生活、家族背景の評価、何を大切にし、どのように生きていきたいかを汲み取ることを重視しています。

患者さんと家族にはそれぞれの暮らしや信念、家族の形があり、そこに病気の進行が加わると複雑な選択を迫られます。そのような時に私たちの看護支援が少しでもその人らしい人生の選択につながればと考えます。また、行った看護支援は病院内のみならず地域と共有し、同じ目標に向かって支援を継続する仕組み作りが今後の課題です。

患者さんの病気や人生の体験を看護を通じて共に経験することが認定としての学びの糧です。日々の看護で患者さんと家族の視点に目を向け続けることがキャリアへの1歩となるのではと思います。



生活指導の様子

認定看護師



透析看護認定看護師
JCHO 仙台病院

大野 和美さん

の意思決定支援を行っています。

近年では成人の8人に1人が慢性腎臓病（CKD）であり、21世紀に出現した新たな国民病です。今後はCKDを広く知ってもらい、腎臓病が急激に悪化しないように、重症化予防活動にも力を入れていきたいと考えています。

2021年度から、新たな認定看護師制度が開始され、現在私も特定行為研修を受講しています。自分の実現したい看護をめざして、みなさんも特定認定看護師に挑戦してみませんか。



腎代替療法選択説明の様子

支部だより

岩沼支部

支部状況

岩沼支部会員数	850
保健師	16
看護師	767
助産師	55
准看護師	12

岩沼支部は名取市、岩沼市、亘理町、山元町の2市2町となっております。

新役員をたくさん迎えましたが、それぞれの意見を尊重しながら役員会・活動を進めています。例年開催している「看護のひろば」や「まちの保健室」などについても地域の企業や医療機関のご協力をいただき順調に活動できました。

岩沼支部では今年度の活動方針の一番にあげた看護管理者ネットワーク会議として「第1回つながりカフェ」を11月30日に開催いたしました。参加者30名の中、災害をテーマにして、塩釜保健所岩沼支所の井上先生に「災害に負けない看護職のネットワークについて」お話をいただきました。先生の経験を通したお話を聞いて改めて災害について考える機会となったと感じた方が多くいました。また、グループの意見交換を通して「他の施設の人の思いや意見が聞けて良かった」、「看護職同士交流できて楽しかった」など情報交換やネットワーク作りのため会議が必要と意見をいただきました。

初めての企画でどんな会議がいいのか迷いながら進めていましたが、災害対応について語り合えた時間はとても有意義なものとなりました。今後も継続していきますので多くの看護管理者・看護職リーダーの方、看護職の方に参加していただきながら岩沼支部のネットワークの構築を進めていきたいと思います。



看護管理者ネットワーク会議の様子

大崎支部

大崎支部の活動を紹介します

大崎支部会員数	1,067
保健師	50
看護師	916
助産師	31
准看護師	70

大崎支部では、毎年「まちの保健室事業」として、大崎市で行っている「健康と福祉のつどい」の時に、血圧測定や健康相談、アロママッサージを行い、市民の方に広く看護協会の活動をPRすると共に看護の心の普及・啓発に努めております。しかし、今年度は台風19号による甚大な被害（特に鹿島台地域）により中止となってしまいました。そのため、「まちの保健室」も行うことができませんでした。鹿島台地域では、長期間にわたって避難所開設を余儀なくされました。地域の病院、医院の先生方をはじめ、看護協会の皆様方には、避難所での健康管理を担っていただき、誠にありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。

他には、毎年5月にイオン古川店で「看護週間事業」を行い、健康相談や肌年齢測定、高齢者疑似体験を行っており120人の方に参加をいただいております。

また、研修会を年2回開き看護職の技術の向上を図っております。



*上記はH28年度の「まちの保健室」

登米支部

まちの保健室事業活動報告

登米支部会員数	231
保健師	14
看護師	208
助産師	4
准看護師	5

令和元年5月11日にイオンタウン佐沼にて「まちの保健室」を開催しました。約150名の方のご来場をいただき、血圧測定・健康相談・オムツの使用方法や介護食についての指導・歯周病ケアの指導、また、人形を使用して妊婦から出産までの子供の成長について説明を行いました。

また、令和元年9月22日に迫体育館にて開催された「登米市こども祭り」へ参加し、白衣や手術着の試着体験を子ども達に体験して頂きました。初めは恥ずかしがっていたお子様も自分の姿を見て、カッコよくポーズを決めていました。変身した姿を見た親御さんも自然と笑顔になり、たくさん写真に収めっていました。今回の活動を通して地域住民の方の健康に対してさらに興味を持っていただく機会になり、今後も継続していく必要性を感じる活動となりました。令和2年も町の保健室事業を通して地域住民の健康意識を高め、看護協会を知っていただける活動を行っていきたいと思います。



気仙沼支部

訪問看護体験とまちの保健室

気仙沼支部会員数	215
保健師	20
看護師	178
助産師	10
准看護師	7

気仙沼支部では地域の看護職員の交流推進にあたり、病院・施設の看護師が市内の訪問看護師に同行させていただき、「訪看体験」を実施しました。参加者からは在宅での看護の実践から患者・家族との信頼

関係の深さを感じ今後のネットワーク交流に活かしていきたいという感想をいただきました。また、11月4日と9日の2日間、今回初めて地域の公民館まつりに「まちの保健室」として参加いたしました。健康相談をはじめ、血圧測定、肌年齢測定や血管年齢測定等、両日で197の方に参加して頂きました。公民館まつりを訪れる方々は比較的元気な方が多く、その場のふれあいは普段の勤務状況と違いとても新鮮な機会となりました。次年度からは他の地区へも足を延ばし、看護協会を身近に感じて頂く活動を広めていきたいと思っています。今後の活動は、令和2年2月に地域ネットワーク交流会を企画しており、台風19号被災時の災害支援看護のしくみや実際の対応などの情報提供をいただき、地域の課題や今後の取り組みなどを意見交換していきたいと考えております。今後ともご協力と参加をよろしくお願いします。



仙 台北支部

地域の人たちの健康のために

仙台北支部会員数	2,534
保健師	50
看護師	2,304
助産師	154
准看護師	26

仙台北支部は2,000名を超える会員の皆様が看護協会の活動を理解され一人でも多くの方に参加していたただけるように、役員21名で支部活動を行っております。10月19日（土）には東北大学クリニカル・スキルラボにおいて「診て・触れて・学ぼう」交流会を開催し、17名の参加がありました。高機能シミュレーター（模型とバーチャル型）

を用い、静脈採血、静脈血管確保、心音や呼吸音の聴診、救急対応などのトレーニングを行いました。参加者からは「救急蘇生の実技をコンピューターで評価してもらうことで自信につながった」「新人・学生教育にも取り入れてみたい」また他施設の看護師と交流を持つことで「地域連携のためにも看護職同士の横のつながりを大切にしたい」などの感想を頂き、満足度の高い交流会となりました。また、北支部として「まちの保健室」の活動を2回実施しました。10月19日（土）木町通り市民センターでの「木町通り市民センターまつり」では約60名の方に、11月17日（日）仙台市シルバーセンターでの「元気力アップフェスティバル」では子供から高齢の方まで約130名の方にご参加いただきました。中には昨年の計測結果をご持参され、今回の値と比較されている方もあり、地域の方々の健康に対する意識の高さを感じることができました。

今後も地域住民のヘルスケアニーズに応えられるように継続して活動していきたいと思います。



北支部役員



交流会



まちの保健室

仙 台東支部

地域の人たちの健康のために

仙台東支部会員数	1,156
保健師	7
看護師	1,069
助産師	63
准看護師	17

『みやぎの・まつり』と『みやぎケアフェスタ』に参加して

令和元年10月20日みやぎの区民祭り健康管理コーナーと、11月2日みやぎケアフェスタ体験コーナーに参加させて頂きました。両日とも、まちの保健室として、①血圧測定、②体脂肪測定、③肌年齢測定、④健康

相談の4コーナーを設けて、健康についての普及・啓発活動を行いました。台風19号の影響を心配しましたが、両日とも天気に恵まれ開催され、10代～90代と幅広い年齢層の方にお越し頂きました。肌年齢測定器の不具合から、みやぎのまつりでは健康チェックを受けられた方が昨年よりは少なかったのですが220名、ケアフェスタでは237名の方にお会いする事が出来ました。どのコーナーでも測定値について一喜一憂し、自分の身体を維持するために体力づくりを行っている方や、これからと考えている方など色々な質問や日頃の悩みなどについて相談を受けました。又、介護についての話も聞かれ、自分だけではない家族へのアプローチなど様々な問題を抱えている方もいました。今回出会った方々はもちろん、個人の健康意識が年を増すごとに高く、ニーズに合った対応が必要となり看護職が地域で活躍できる領域は広くなっていると感じました。

昨今、日本は超高齢化社会になってきています。より一層地域に根差した看護が必要となり広い視点から「看護の役割」を考えていかなければならぬと感じました。

最後になりますが、ご参加下さいました皆様、ご協力頂きました関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。



みやぎの・まつりでの様子



みやぎケアフェスタでの様子

仙南支部会員数	677
保健師	30
看護師	590
助産師	33
准看護師	24

こんにちは、仙南支部です。
2020年オリンピックイヤーを迎え、気持ちも新たにスタートされた方も多いと思います。今年も仙南支部は「明るく・楽しく・元気よく」活動してまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。

昨年は、日本各地に自然災害による甚大な被害がありました。仙南地域にも、台風19号による豪雨被害があり、山は崩れ、川が溢れ、道が途切れ、自宅や車が浸水し水没し、病院や施設にも大きな被害をもたらしました。常日頃の連携は、声掛けと励ましと情報交換に役立ちました。これからも、連携を強め、手を取り助け合いながら、地域に貢献していきたいと思います。

また、震災の時にも感じた事でしたが、どんな状況に置いても職場に向かおうとする看護職の強さや使命感は素晴らしい、今回も逆境に臆することなく、流されそうになる身体を互いに気遣いながら、手をつないで渦流の中を進む姿がありました。

美しい四季が、うすぼんやりしてきたような昨今。それでも、時は過ぎ季節は巡ります。自然は私達に常に感動と時に落胆のため息をくれます。

どうか今年は穏やかで、笑顔あふれる日々を過ごせるよう祈ります。



15日朝（角田市）



みんな笑顔で役員会（公立刈田総合病院にて）

会員のページ

わたしのとっておきリフレッシュ方法

K病院 ペンネーム よーぐりんKさん

私のとっておきのリフレッシュ方法は、家庭でヨーグルトを量産することです。

市販されている特定のヨーグルト1本または1個を牛乳900mlによくかき混ぜ、ヨーグルトメーカーにセットし、8時間で特定のヨーグルトが量産できるのです。

大体、寝る前にセットし朝に出来上がりを楽しみに確認すると思い通りのヨーグルトが出来ていて即冷蔵庫に入れ、その日の夕飯後にたくさんのフルーツにたっぷりかけて食べることが、私にとっては至福の幸せで気持ちがリフレッシュされます。体が弱い私は、これを始めてから毎日健康に過ごすことができています。

私にとって今後も看護師として生き生き働き続けるためには、このヨーグルトメーカーは一生手放せません。



効果的な実習指導を目指して

この実習指導者講習会は、厚生労働省「保健師助産師看護師実習指導者講習会実施要綱」に基づき、宮城県が主催し、当協会が受託して開催しています。

今年度の講習会は7月20日から10月4日までの40日間と、10月8日から10月25日までの9日間（特定分野）の講習会を開催しました。講習会では看護全般と専門領域、教育学に関する内容など多岐にわたった講義を行っています。40日間の講習会では講義だけではなく、それぞれの領域にあった指導案を作成するための演習を48時間取り、グループワークも行います。どのようにしたら学生に良い指導ができるかをディスカッションしながら実習指導案を作成する過程は、頭を悩ませる部分も多いですがチームのきずなが深められ、それぞれの看護観を振り返る良い機会となっているようです。

受講生の皆さんのおかげで、今後の活躍に期待します。大変お疲れさまでした。



特定分野受講者



実習指導者講習会受講者

医療安全情報 レポート

vol.26

働くみんなの医療安全 「高齢者や認知症患者の誤嚥管理に気をつけよう！」

前号に続き、「高齢者や認知症患者の誤嚥に気をつけよう！」をテーマに皆さんにお伝えします。高齢者の誤嚥は、義歯や食物等についてのインシデントが多く報告されています。

事例 1

小骨の場合、気がつかないで飲み込んでしまうことがあります。飲み込むと胃に落ちる途中で引っかかることがあります。また、肉の塊などをよくかまざに飲んでしまい、食道に詰まってしまうことがあります。この場合は胸焼けや胸の違和感を強く訴えます。



パンなども危険

事例 2

脳梗塞後や認知症患者の中には「飲み込み」ができず、口腔内に貯めたままにしていることがあります。誤嚥し窒息してしまう可能性があります。

嚥下するまでの見守りは？



食事摂取時の姿勢は大丈夫ですか？

- 誤嚥・誤飲すると、むせる、あるいは咳き込むといった症状が出ますが、高齢者は気道をまもる反射（気道防御反射）が低下している場合、誤嚥をしてもむせないことがあります。肺炎を引き起こします。
- 誤嚥・誤飲は、さまざまな病気が原因となって生じます。飲み込みの反射（嚥下反射）が障害されたり、飲み込む力が弱い、あるいは食道を通過できない、といった状態が誤嚥を引き起こします。神経や筋肉の病気の初期症状である場合もあります。また喉の腫瘍（喉頭癌や食道癌など）でも誤嚥を生じることがあります。

一人一人の食事に関する情報共有をチームで行い、早期発見が大事です!!



ナースセンターでは、宮城県看護協会が宮城県より指定を受け、看護職員の定着・確保に関する事業を行っています。主として未就業者の就労促進（ナースバンク）、復職支援、離職防止対策、看護の心普及啓発等の事業を行っています。



“Café なーすせんたー”

初めて開催しました

訪問看護師として働く大庭さんに、復職に至るまでの経緯を伺うことが始まりました。

専業主婦をしていた大庭さんは、東日本大震災でのボランティアをきっかけに「看護師として活躍したい」と思い、8日間のナースセンターでの復職研修を受講し、その中で訪問看護を知りました。22年ものブランクを乗り越え在宅医療の現場に飛び込み戸惑いや不安が有りながらも、周りの方に支えられて7年間勤めているそうです。



大庭由利香さん

参加者の声①

実際復職した方からのお話を聞いて貴重な時間となった。看護の原点の気持ちを教えてもらった。今後の復職に向けて前進できた。

コーヒー やお茶を
飲みながら
和やかな時間でした。



参加者の声②

少人数で緊張感が程よくザックバランに話すことができ、とても楽しく情報交換することができた。また参加したい。



「潜在看護職員復職研修」のご案内

採血技術に不安のある方参加してみませんか。

日時 毎月第2木曜日 13:30～15:00

場所 訪問看護総合センター3F

申し込み 事前に下記に電話で申し込みください。

定員 6名（定員になり次第締め切り）

ハローワーク移動相談を定期的におこなっています。

● 2月・3月・4月の実施予定（仙台のみ要予約）

2月	仙台／10日（月） 石巻／21日（金）	塩釜／4日（火）	13:00～
3月	仙台／9日（月） 古川／13日（金）	大河原／24日（火）	13:00～ 13:30～
4月 (予定)	仙台／13日（月） 石巻／15日（水）	塩釜／7日（火）	13:00～

お問い合わせ

宮城県看護協会ナースセンター

■仙台市青葉区柏木2丁目3-23（訪問看護総合センター内1F）

■相談時間 平日9:00～18:00 土曜日10:00～15:00（年末年始・祝日は除く）

■電話 (022) 272-8573 ■FAX (022) 272-7801

2020年度新規入会・再入会受付中

現在看護協会では2020年度新規入会・再入会について受付中です。申し込み用紙がお手元にない場合には、宮城県看護協会までご申請ください。(TEL 022-273-3923 会員管理担当)

※2019年度の用紙はご利用できません。

※2019年度ご入会されている方は自動継続となります。登録内容に変更のある場合には変更届にて申請をお願いいたします。

【入会申込書送付先住所】

〒206-8790

日本郵便株式会社 多摩郵便局 私書箱第21号
公益社団法人日本看護協会・都道府県看護協会
会員登録事務局 宛

※郵便局私書箱のため、宅急便による送付
は受付できません。普通郵便・書留・ゆ
うパック等、日本郵便のサービスのご利
用をお願いいたします。

会員内訳	継続・再加入者	新規加入者
	日本看護協会会費	¥5,000
	宮城県看護協会会費	¥8,000
	宮城県看護協会初回費(※1)	¥5,000
	会館維持管理会員負担金(※2)	¥10,000
計		¥13,000
		¥28,000

※1 これまでに、一度でも宮城県看護協会にご入会されたことのある場合には「再加入」扱いとなりますので、初回費は不要となります。また、他県での入会歴があつても宮城県看護協会へのご入会が初めての場合は新加入者扱いとなりますのでご注意ください。

※2 お一人様一回のみの納入となります。新加入の方及び前回加入時に納入をされていない方は、年会費と併せての納入をお願いいたします。

令和元年度 会員総括表

2019/12/1現在

支部名	保健師		助産師		看護師		准看護師		計	
	会員	新会員	会員	新会員	会員	新会員	会員	新会員	会員	新会員
仙南	30 (1)	0 (0)	33	0	590 (41)	26 (2)	24 (2)	5 (1)	677 (44)	31 (3)
岩沼	16 (0)	0 (0)	55	3	767 (75)	26 (5)	12 (0)	1 (0)	850 (75)	30 (5)
塩釜	10 (0)	0 (0)	30	3	376 (22)	17 (1)	12 (0)	2 (0)	428 (22)	22 (1)
大崎	50 (0)	1 (0)	31	3	916 (46)	31 (3)	70 (1)	1 (0)	1,067 (47)	36 (3)
栗原	22 (0)	0 (0)	7	0	355 (13)	7 (2)	7 (0)	0 (0)	391 (13)	7 (2)
登米	14 (0)	0 (0)	4	0	208 (13)	5 (2)	5 (0)	0 (0)	231 (13)	5 (2)
石巻	17 (0)	1 (0)	41	3	1,083 (90)	52 (10)	95 (6)	4 (1)	1,236 (96)	60 (11)
気仙沼	20 (0)	0 (0)	10	0	178 (12)	6 (1)	7 (1)	0 (0)	215 (13)	6 (1)
仙台・黒川	40 (3)	0 (0)	85	2	1,729 (113)	130 (11)	73 (3)	7 (0)	1,927 (119)	139 (11)
仙台北	50 (3)	2 (1)	154	11	2,304 (218)	156 (17)	26 (4)	3 (0)	2,534 (225)	172 (18)
仙台南	26 (1)	2 (1)	131	8	1,733 (91)	86 (7)	45 (0)	3 (0)	1,935 (92)	99 (8)
仙台東	7 (0)	0 (0)	63	3	1,069 (69)	79 (9)	17 (1)	4 (1)	1,156 (70)	86 (10)
県外	1 (0)	0 (0)	0	0	10 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (0)	1 (0)
合計	303 (8)	6 (2)	644	36	11,318 (803)	622 (70)	393 (18)	30 (3)	12,658 (829)	694 (75)

() は男子再掲

暖冬といわれる今年の冬ですが、平年並みに寒い日もあります。皆様体調を崩したりしていませんか。12月初旬からインフルエンザの流行が始まり、猛威を振るっています。感染症対策に努め、元気に過ごしていきましょう。

今後も皆様のお役に立つような情報を掲載できるよう努めてまいりますので、ご意見・ご感想をよろしくお願い致します。

(広報委員一同)



看護みやぎ 第148号 令和2年2月1日発行 公益社団法人 宮城県看護協会 発行責任者 石井 幹子

〒980-0871 仙台市青葉区八幡二丁目10番19号 TEL.022-273-3923 FAX.022-276-4724

ホームページアドレス <http://www.miyagi-kango.or.jp/>